

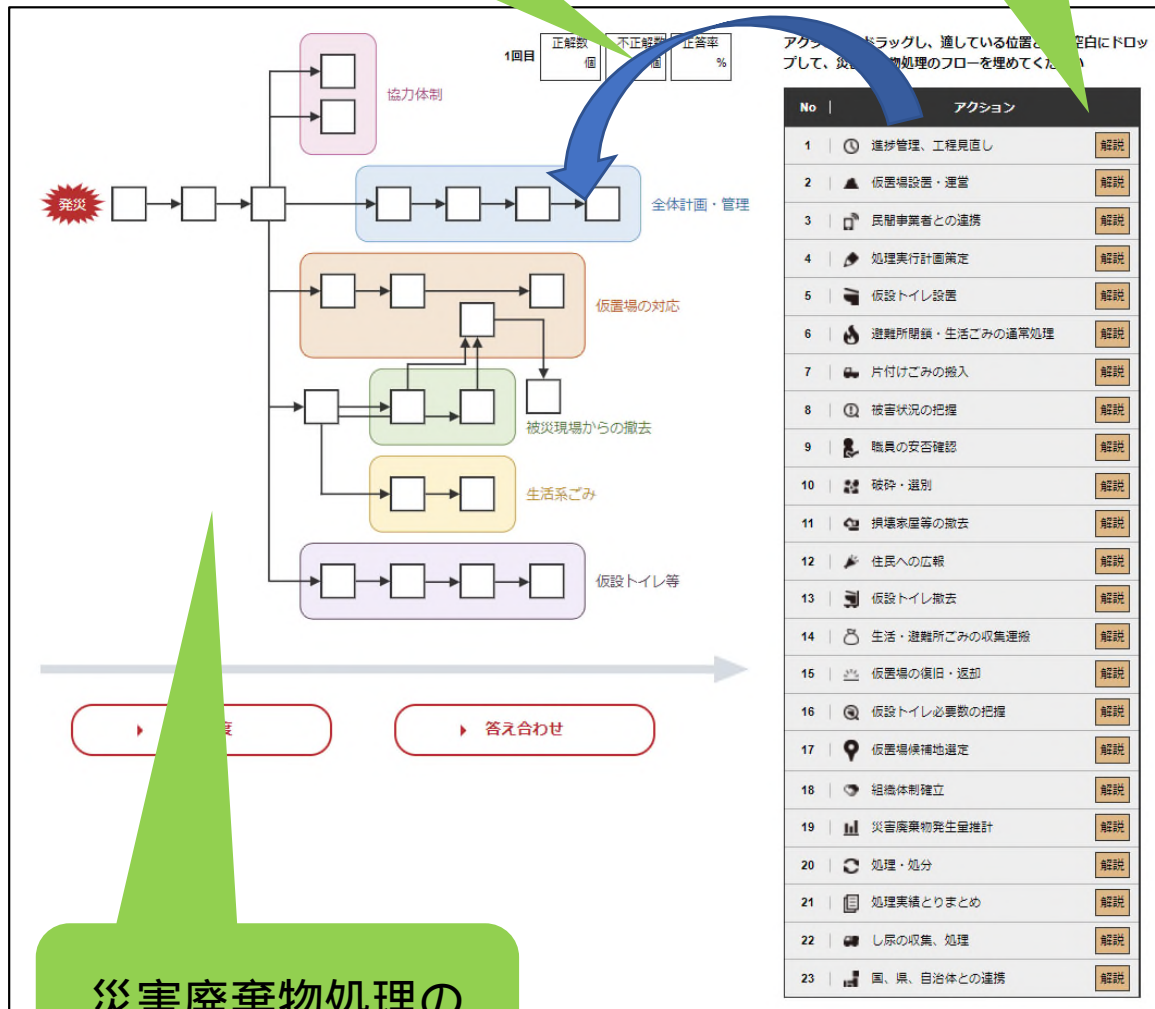
## 「災害廃棄物オンライン研修～フロー図で見える化～」

京都大学、応用地質(株)

- 本研修は、災害廃棄物処理の全体像を、主な業務の流れを示したフロー図を用いて効率的に理解して頂くことを目的に開発されました。
- 短期間に大量の廃棄物を処理する災害廃棄物処理業務は、先を見越した対応、各関係組織との連携など、平時の知識・経験と異なる領域が多くあります。そして、平時から災害を想定して何をすべきかを検討し備えていくことが重要ですが、処理業務の全体像をつかむための取り組みやすい学びのツールは十分ではありませんでした。
- そこで、自治体の災害廃棄物担当者から住民・ボランティアの方まで、幅広い方々を対象に、WEBアプリにより、いつでもどんな場所からでも取り組むことができる、汎用性の高い研修アプリを作成いたしました。
- この研修アプリでは、フロー図で処理の全体像を把握するだけでなく、各業務の内容、トラブルが起こった際の実際の対応事例も学ぶことができます。
- 複数の自治体の職員の方々に、実際に研修で使用していただきました。

アクション一覧からドラッグ  
&ドロップで左のフロー図に  
埋め込み、完成させます

クリックすると、各  
アクションの解説  
ページにとびます



災害廃棄物処理の  
初動業務の流れ

## 各アクション（業務）の解説

### 1 進捗管理、工程見直し

- ・災害廃棄物の搬出入量、被災家屋数、処分量などの情報を整理します。
- ・施設、人員、資機材の確保状況も踏まえ、工程毎に進捗を管理します。
- ・工程が遅れている場合などには、対策を講じて適宜見直します。



## フロー図が完成した後の次の学習 実際の対応事例

### 1 進捗管理、工程見直し

#### 【状況】

災害廃棄物の推計量は、定期的に見直し関係機関へ報告する必要がありました。

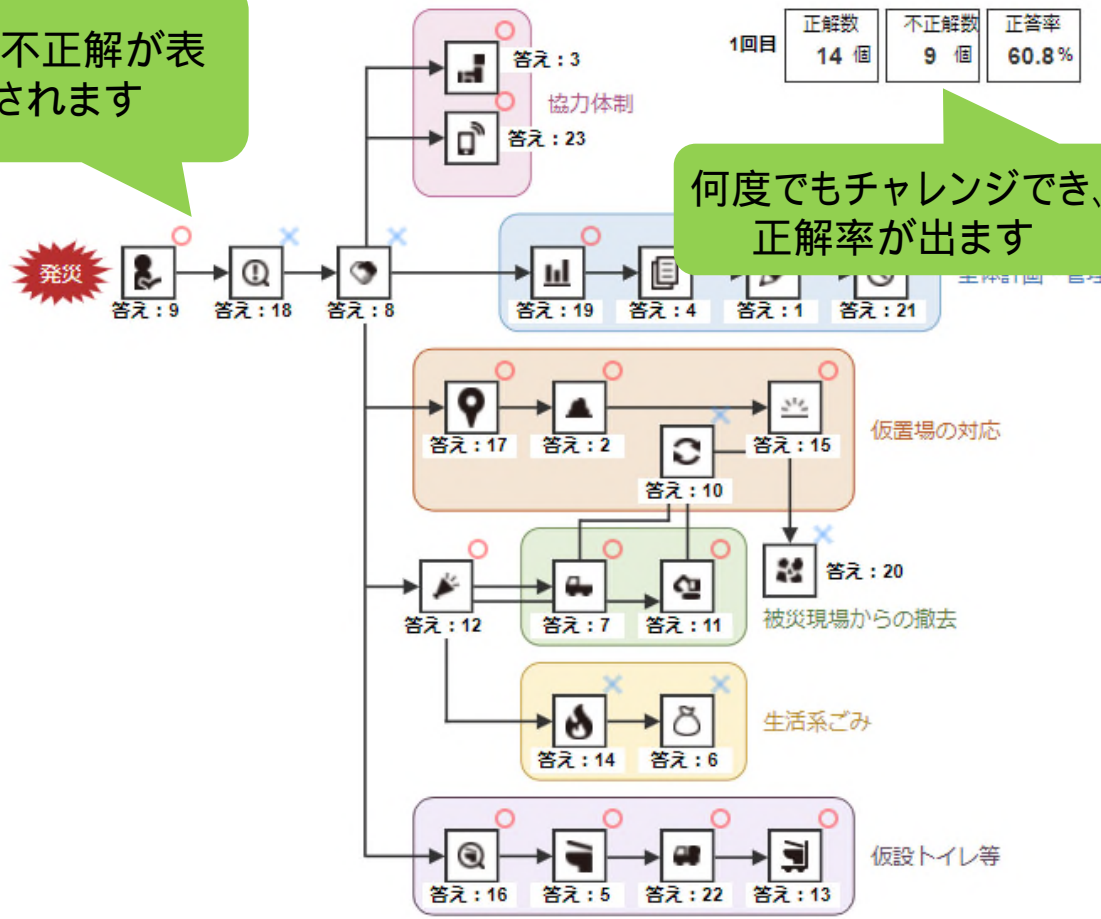
#### 【対応例】

発生当初はどのように災害廃棄物発生量を推計すれば良いかわからない自治体が多数ありました。時間の経過に伴い、仮置場での測量や車両台数計測により発生量の確認が行われました。

災害：東日本大震災

出典：巨大災害により発生する災害廃棄物の処理に自治体はどう備えるか～東日本大震災の事例から学ぶもの～（2015 環境省東北地方環境事務所）

正解、不正解が表示されます



何度でもチャレンジでき、正解率が出ます

アクションをドラッグし、適している位置と思う空白にドロップして、災害廃棄物処理のフローを埋めてください

No	アクション	解説
1	進捗管理、工程見直し	解説
3	民間事業者との連携	解説
2	仮置場設置・運営	解説
4	処理実行計画策定	解説
5	仮設トイレ設置	解説
8	被害状況の把握	解説
9	職員の安否確認	解説
7	片付けごみの搬入	解説
11	損壊家屋等の撤去	解説
10	破碎・選別	解説
6	避難所閉鎖・生活ごみの通常処理	解説
12	住民への広報	解説
13	仮設トイレ撤去	解説
14	生活・避難所ごみの収集運搬	解説
17	仮置場候補地選定	解説
15	仮置場の復旧・返却	解説
18	組織体制確立	解説
19	災害廃棄物発生量推計	解説
16	仮設トイレ必要数の把握	解説
21	処理実績とりまとめ	解説
22	し尿の収集、処理	解説
20	処理・処分	解説
23	国、県、自治体との連携	解説

満足した方  
→ 次の学習

難しかった方  
→ ヒント

次の学習 (実際の対応事例) に進むことができます

難しい場合は、ヒントを出すことができます

研修アプリのURL

<http://oyo-disaster-stg-elb-1870833981.ap-northeast-1.elb.amazonaws.com/>

ユーザー名 : oyouser パスワード : quzg!4cHgG\$#

ご感想・ご意見がございましたら、下記のメールアドレスにぜひお寄せ下さい。

京都大学浅利美鈴研究室（担当：益田） [ecocheck@eprc.Kyoto-u.ac.jp](mailto:ecocheck@eprc.Kyoto-u.ac.jp)

本研究は環境省環境研究総合推進費「災害廃棄物対応力向上のための中小規模自治体向けマネジメント手法の開発」(代表：多島良)の一部として実施したものである。